

# INCLUSION FOR INNOVATION



代表からの  
ご挨拶

## トップメッセージ

# Message

生まれつき骨が弱く折れやすい病気のため、私は幼少期から車いすに乗って過ごしました。かつて少年だった私の夢は「歩くこと」でした。

足で歩くことができないと知った日、私は絶望しました。

それから、多くの人の支えを受け「歩けなくてもできること」を探し、その道を進む中で「歩けないからできること」を見つけました。

車いすに乗っている私の目線の高さは、106cmです。

この高さだからこそ、気づけること、伝えられることがあります。

人には誰しも、弱みやコンプレックスがあります。ネガティブに見えることも、視点を変えればそれらは強みに、そして、価値へと変えていけます。

日本は他国に類を見ない速度で高齢化が進んでいます。

高齢化先進国の日本だからこそ、ユニバーサルデザインにおいても先進国にしたいと私たちは考えています。

建物や製品、サービス、コミュニケーション、情報のあり方など日常にはありとあらゆるものが存在しています。

それらを全ての人にとって便利で快適に、世界がお手本にしたいくなるようなものへと変えていくことが弊社の使命です。

障害を価値に変え、私たちは社会を、世界を、革新していきます。

### ■ 代表プロフィール

## 垣内 俊哉

Kakiuchi Toshiya

株式会社ミライロ 代表取締役社長  
日本ユニバーサルマナー協会 代表理事  
日本財団パラリンピックサポートセンター顧問

1989年生まれ、岐阜県中津川市出身。

立命館大学経営学部在学中の2010年、株式会社ミライロを設立。  
2014年には日本を変える100人として「THE100」に選出される。  
2015年より、日本財団パラリンピックサポートセンターの顧問に就任。  
著書に「バリアバリュー」（新潮社）がある。Japan Venture Awards  
2018「経済産業大臣賞」受賞。



# Corporate Philosophy

## ■ 企業理念

# BARRIER VALUE

バリアバリュー



バリア  
(障害)

+

を



バリュー  
(価値)

=

に変える



バリアバリュー

それぞれが直面する、トラウマやコンプレックス、障害は克服すべきものでもなければ、取り除くべきものでもありません。今まで「バリア」として捉えていたことも、考え方や周囲の向き合い方次第で、「強み」や「価値」に置き換えることができます。バリア（障害）をバリュー（価値）に変え、私たちは社会を変革します。

## ■ 会社概要

社名	株式会社ミライロ（英：Mirairo Inc.）
設立	2010年6月2日（創業：2009年5月）
役員	代表取締役社長 垣内俊哉 取締役副社長 民野剛郎 取締役 橋本寛之 取締役 谷間真 常勤監査役 大塚壮一郎 社外監査役 三井高尚 社外監査役 笠原努
資本金	3億960万円（資本準備金含む）
所在地	<b>大阪本社</b> 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-8-15 EPO SHINOSAKA BUILDING 8F <b>東京支社</b> 〒141-0022 東京都品川区東五反田5-26-5 ニッセイ五反田駅前ビル 5F <b>福岡支店</b> 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-5-19 サンライフ第3ビル6F

### 事業内容

- ユニバーサルデザイン及びユニバーサルマナーに関するリサーチ及びコンサルティング
- ユニバーサルデザイン及びユニバーサルマナーに関する教育研修の企画、開催及び運営
- 建築物、室内空間及び製品のユニバーサルデザイン化に伴う企画、設計、開発及び施工
- 建築物及び地域のバリアフリーに関する各種情報の収集、提供及び販売
- バリアフリーマップ、案内板及び各種印刷物の企画、制作及び販売
- アプリケーション及びデータベースの企画、設計、開発、提供及び販売
- 障害者及び高齢者を対象とする情報保障及び遠隔サポート

これまでの  
歩み

## 沿革 History

### 2009年

5月 垣内俊哉がValue Added Networkを創業



### 2010年

6月 大阪市北区（西天満）にて株式会社ミライロを設立

### 2011年

1月 バリアフリーマップ制作サービスを開始

3月 被災地に車いすを届ける「ハートチェアプロジェクト」を実施



### 2012年

12月 本社を大阪市淀川区（西中島）に移転

### 2013年

1月 代表垣内が「みんなの夢AWARD3」にて日本武道館でグランプリを獲得

8月 研修サービスに「ユニバーサルマナー検定」を加え、検定事業を開始



### 2014年

1月 ログマーク・VIを変更

5月 東京支社を恵比寿に開設

12月 障害者専門調査サービス「ミライロ・リサーチ」を開始



### 2015年

3月 経済産業省「平成26年度ダイバーシティ経営企業選」受賞

7月 多様な愛の形・性のあり方と配慮を学ぶ「LGBT対応マナー研修」を開始

9月 福岡支店を開設



### 2016年

3月 代表垣内が初著書「バリアバリュー」(新潮社)を出版

4月 バリアフリー地図アプリ「Bmaps」リリース



## 2017年

- 10月 多様な方々を思いやる企業と人を表彰する「ユニバーサルマナーアワード2017」開催
- 12月 聴覚障害がある方のコミュニケーション支援サービス「ミライロ・コネクト」開始



## 2018年

- 2月 Japan Venture Awards で「経済産業大臣賞」を受賞
- 関西財界セミナー賞で「特別賞」を受賞



## 2019年

- 5月 東京支社を品川区東五反田に移転
- 7月 デジタル障害者手帳「ミライロID」をリリース
- 10月 work with Pride「PRIDE指標」で最高評価の「ゴールド」を3年連続で受賞



## 2020年

- 7月 Diversity&Inclusionの情報発信・交流拠点「ミライロハウス TOKYO」を丸井錦糸町店にオープン
- 11月 有望なスタートアップ企業として「J-Startup KANSAI」に選定される



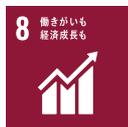
## これから

### ユニバーサルデザインに取り組むことは、SDGsの達成に大きく貢献する



#### 4.質の高い教育をみんなに

すべての人々に包摂的かつ公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する。



#### 8.働きがいも経済成長も

包摂的かつ持続可能な経済成長、及びすべての人々の生産的な雇用と働きがいのある雇用を促進する。



#### 9.産業と技術革新の基盤をつくろう

強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及び技術革新の推進を図る。



#### 10.人や国の不平等をなくそう

国内および国家間の格差を是正する。



#### 11.住み続けられるまちづくりを

都市及び人間の居住地を、包摂的・安全・強靱・持続可能な状態にする。



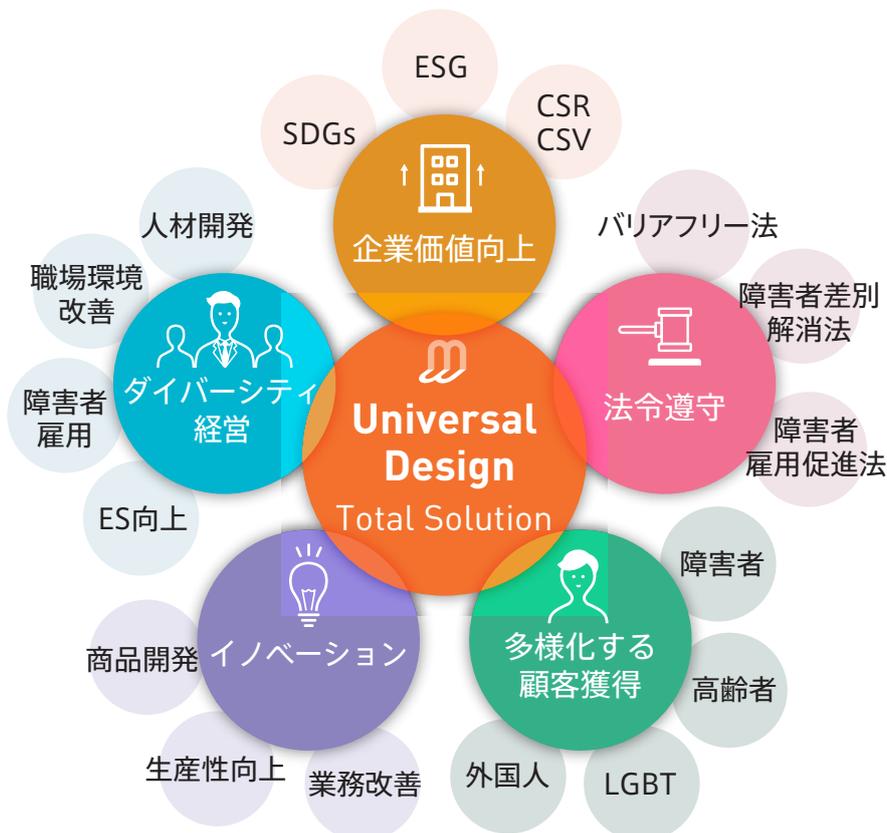
### ■ 当事者視点を活かしたコンサルティング

障害がある方への対応は、コストがかかりすぎ、過剰になってしまうことがあります。私たちは障害がある当事者の視点と、ビジネスとしての視点から、最適なソリューションを提供しています。全国1,000を超える企業・自治体・教育機関との業務実績があるミライロは、本当に求められている課題を見つけ、解決に向けた提案をします。



### ■ ユニバーサルデザインによる効果

高齢者、障害者などの多様な方々を対象としたユニバーサルデザインの取り組みは、企業、自治体における、様々な課題解決や企業価値の向上につながります。多様なソリューションと共に、お客様をサポートいたします。



## ■ 今求められる、ユニバーサルデザイン

高齢化や関連法令の整備、SDGsの推進、ESG投資等によりバリアフリーやユニバーサルデザイン、ダイバーシティ&インクルージョンに関連する取り組みが加速しています。

現在、日本には高齢者3,619万人、障害者964万人、3歳未満の幼児が275万人います※1。日常生活で不自由や不便を感じるバリアが社会に多数存在する中で、潜在的なニーズを含めるとより多くの人ユニバーサルデザインを求めています。社会貢献の枠組みを超えたバリアを解消するための、持続可能な取り組みが必要となります。

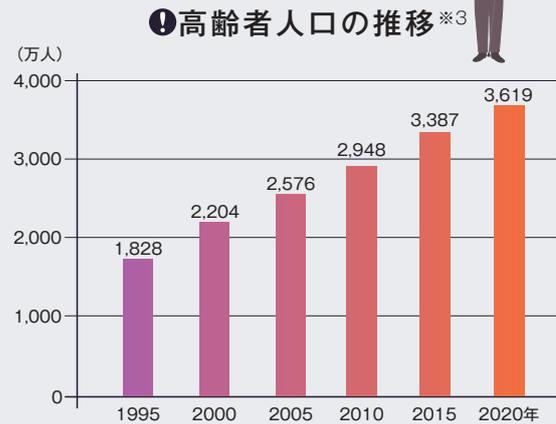
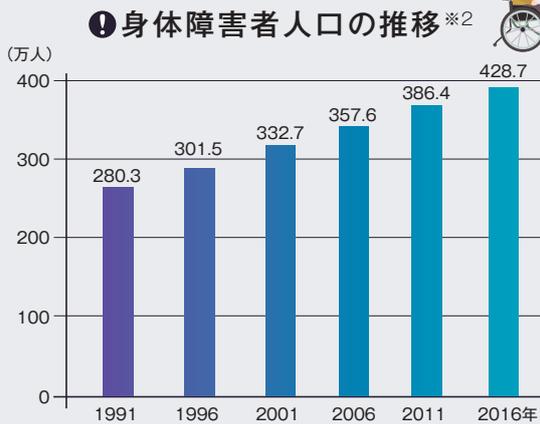
※1：総務省「令和2年版 人口推計」(2020年)、内閣府「令和元年版 障害者白書」(2019年)

### ■ 2021年 改正障害者差別解消法成立

事業者に対する障害者への不当な差別の禁止、合理的配慮の提供が努力義務規定から義務規定に修正され、障害者インクルージョンが法的義務となりました。

### ■ 2025年 大阪・関西万博開催

SDGsの達成に向けて、150の国と25の国際機関、様々な企業や市民団体などが一丸となって未来を共創していくことが求められます。



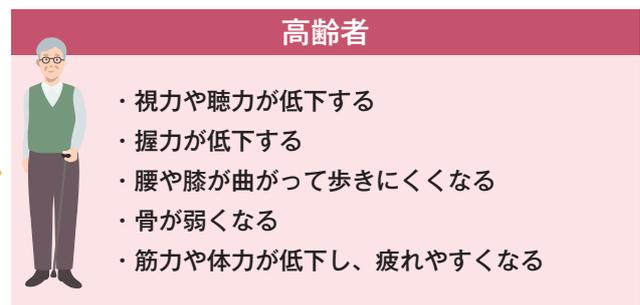
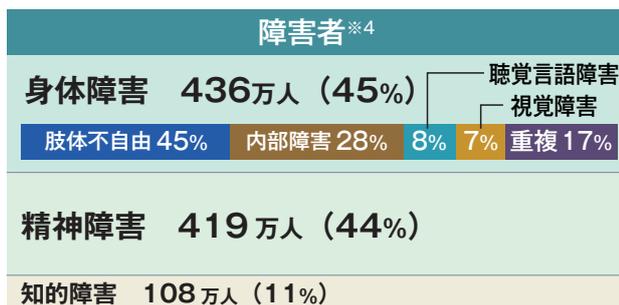
※2：内閣府「令和元年版 障害者白書」(2019年)

※3：総務省統計局「令和2年版 人口推計」(2020年)、内閣府「令和3年版 高齢者白書」(2021年)

## ■ アプローチ方法

### 障害者の視点から、すべての人が暮らしやすい社会をつくる

高齢者は加齢に伴って様々な身体的不自由が増えて、視力・聴力・筋力などの低下が同時に進行します。つまり、高齢者の潜在的ニーズは、障害者のニーズを統合した状態にあります。障害者や高齢者にとって外出や消費、サービスを利用しやすくすることは、すべての人が暮らしやすい社会の実現につながります。



※4：内閣府「令和2年版 障害者白書」(2020年)

# ソリューションの紹介

## Solution

私たちは、障害を価値と捉えるバリアバリューの視点から、誰もが安心して快適に過ごすことができるユニバーサルデザインのモノやサービスを生み出すソリューションを提供しています。8つのソリューションを通じ、私たちが目指す社会のあり方、そして想いをお伝えします。



### Universal Manners

#### ユニバーサルマナー

高齢者・障害者・ベビーカー利用者・LGBT・外国人など多様な方々と向き合うためのマインドとアクションを体系的に学ぶ研修や講師派遣

#### サービス内容

- ・ユニバーサルマナー検定
- ・多様なカリキュラム展開
- ・多様な受講方法のご案内

P09



### MIRAIRO Research

#### ミライロ・リサーチ

5,000名以上の障害者モニターからの幅広い意見収集を通じた製品・店舗づくり・Webなどの課題発見から解決方法の提示までフォロー

#### サービス内容

- ・定量調査（Webアンケート）
- ・定性調査（インタビュー調査、行動観察調査、覆面調査）
- ・Webアクセシビリティ調査
- ・ワークショップ

P13



MIRAIRO Architecture

### ミライロ・アーキテクチャー

新規施設・改修施設に関わらず、身体特性に左右されない、誰もが安心して心地よく過ごせる空間づくりをプロデュース

#### サービス内容

- ・施設改善に向けたUD調査
- ・設計・改修時のUD監修
- ・施設運営に関わる配慮事項の作成

P15



MIRAIRO Creative

### ミライロ・クリエイティブ

グラフィック・映像・Webなどの多様な媒体を通して、利用者の環境や状況に合わせた最適なデザインを制作

#### サービス内容

- ・バリアフリーガイド・マップの制作
- ・案内サインのユニバーサルデザイン監修
- ・ユニバーサルデザイン対応の情報媒体

P17



MIRAIRO Connect

### ミライロ・コネクト

聴覚言語障害により、聞こえづらさや話しづらさを感じている方のためのコミュニケーションにおけるバリアを解消

#### サービス内容

- ・情報保障コンサルティング
- ・遠隔における通訳サービス
- ・手話・文字通訳派遣サービス
- ・手話講座  
(現地派遣、オンラインなど)

P19



MIRAIRO ID

### ミライロ ID

障害者が外出しやすくなる・事業者の対応もスムーズになるデジタル障害者手帳「ミライロID」の運営

#### 主な機能

- ・障害者手帳の代替
- ・情報配信
- ・ミライロクーポン
- ・福祉機器の共有
- ・ミライロチケット
- ・API連携

P25

多様性を理解し  
意識を変える

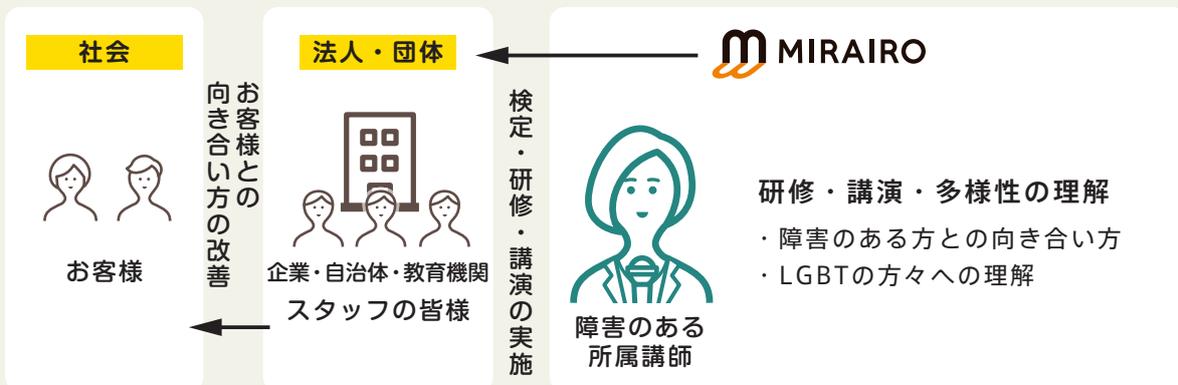
ユニバーサルマナー

# Universal Manners



高齢者・障害者・ベビーカー利用者・LGBT・外国人など、多様な方々を街で見かける現代。一人ひとりに向き合い、適切な理解のもと行動することは、もはや特別な技術ではありません。ハートを変えるためのマインドとアクションを身につける「ユニバーサルマナー検定」の実施、研修や講師派遣を行っています。

## 取り組みの流れ



ユニバーサルマナーでは、法人や団体に所属するスタッフや従業員の方々の「意識」を変えます。障害のある方や多様なお客様との関わり方、彼らが直面する課題などの気づきにつなげられます。施設やサービスの改善に取り組む前の段階で、組織全体・スタッフの意識醸成を行います。

## ユニバーサルマナー検定

ユニバーサルマナーの実践に必要な「マインド」と「アクション」を体系的に学び、身につけるための検定です。相手の気持ちに寄り添った対応をするための声かけとコミュニケーションの方法を学びます。その上で、ケースバイケースでの適切なサポート方法を身につけることができます。

### 3級カリキュラム

高齢者や障害者への基本的な向き合い方やお声かけを学ぶ入門講座です。講義と演習問題を通し、「違い」と向きあい、一歩を踏み出せる人を目指します。

● **講義 75分**

障害とは何か／優しいおもてなしとは何かなど基本的な知識から基礎となる考え方を通して、ユニバーサルマナーを身につけます。

● **演習問題 45分**

グループで演習問題に取り組みます。お互いの意見を共有することでより理解、認識が広がります。

**合計2時間 受講者全員認定**

### 2級カリキュラム

障害に関する詳しい知識と、実技研修から実践的なサポートを学びます。多様な方々への適切なサポートが出来る人を目指します。

● **講義 70分**

障害についての基礎知識／障害のある方が、日常で困ることについてなど、3級よりも更に実践的な知識の習得を行います。

● **実技研修 150分**

車いすに関する実技研修／視覚障害者に関する実技研修／高齢者・聴覚障害者に関する実技研修を行います。

● **試験 30分**

25問の試験を行います。70点以上で2級認定となります。

**合計5時間（休憩含む）試験合格者のみ認定**



### 1級カリキュラム

選択式のカリキュラムと当事者のリアルな体験を通して自身の価値観や世界観をより広げられます。カリキュラムの受講と体験の実施後、レポートを提出していただきます。認定のためには3級・2級の取得が必要ですが、取得していなくても各カリキュラムを受講することは可能です。

**INPUT 1.**  
**学ぶ**

- 認知症対応マナー研修
- LGBT対応マナー研修
- ユニバーサルワーク研修
- ユニバーサルコミュニケーション研修

このうち3つ

**INPUT 2.**  
**体験する**

- つながるUMトークライブ
- つながるUM座談会
- 外部イベント

このうち1つ

レポート提出



## 多様なカリキュラム展開

ユニバーサルマナーのプログラムは、受講する方の業種や目的のシーンに応じて多様なカリキュラムを展開しています。ユニバーサルマナー検定を通して習得した多様な方々との向き合い方に加え、より専門的な知識や心得を身につけていただきます。

### 認知症対応マナー研修

認知症の方と社会の間にある壁を払拭するために、社会や環境を変えることで解決できることが多くあります。接客業などの一時的な交流をする方に向けて、認知症に関する基本情報と現場で活かせるケーススタディを通し、実践的な対応に関する意識醸成につなげます。



### LGBT対応マナー研修

ユニバーサルマナーの視点から多様な性を考えることを特徴とし、基本的な用語、職場を起点としたLGBTの方々を取り巻く課題や配慮、社会の先進的な動きや各業界の取り組みを学びます。ワークを通して自身にできることを考え、LGBTの方々に向けたサービス開発や就労面での配慮方針等に活用できます。



### ユニバーサルワーク研修

精神・発達障害がある方の不安解消や業務の見える化など雇用を成功させるためのノウハウや実践的な方法を習得することができます。研修や実際のケースワークを通じて、精神・発達障害者と一緒に「働く」ことを起点に、誰に対しても必要となるコミュニケーション方法を学びます。



### ユニバーサルコミュニケーション研修

聴覚障害を理解し、多様なコミュニケーション方法を学ぶための講座です。当事者による講義、実践的なワーク、簡単な手話講座などを通してお声かけの敷居を下げたコミュニケーション方法を学び、聴覚障害を取り巻く課題解決に寄与できます。



## 多様な受講方法

ユニバーサルマナー検定は、実地、オンライン配信、eラーニング（※）の3種類の受講方法をご用意しています。受講者のご都合に合わせて受講方法をお選びいただくことが可能です。

※2021年7月時点においてeラーニングは3級のみ対応しております。その他のカリキュラムは随時対応予定です。



講演に関する  
ご案内

講演・セミナー

# Lecture/Seminar

## 講演の内容について

ミライロでは、ユニバーサルデザインの分野において、テーマや目的に応じた多種多様な講演・セミナーのプログラムを提供しています。講師は障害のある当事者、豊富な経験のある専門家が務めます。



## 講師のご紹介



### 垣内 俊哉

(Kakiuchi Toshiya)

株式会社ミライロ代表取締役社長。日本財団パラリンピックサポートセンター顧問と、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会アドバイザーを兼任。著書「バリアバリュー（新潮社）」



### 原口 淳

(Hraguchi Jun)

生まれつき全盲の視覚障害がある。学生時代に放送コンクルの全国大会に出場した経験から、見えなからこそ伝えられることがあると気づき、講義活動を開始。地元・兵庫県のブラインドサッカーチームではキャプテンを務める。



### 薄葉 ゆきえ

(Usuba Yukie)

幼少期に罹患した肺炎の後遺症で、突発性の感音性難聴と診断され、30代半ばで聴力を完全に失う。聴覚障害のみならず、外見からはわかりづらい障害やコミュニケーションにおけるバリアへの理解と解消方法を伝える。



### 田中 利樹

(Tanaka Riki)

視神経に腫瘍があり、生まれつき右目の視力が全くない。自分が障害者であることを強く意識はしてこなかったが、周囲から向けられる意識とのギャップに苦しんだこともある。講義ではそんな経験を踏まえ、思い込みのバリアを解消することを伝える。



### 福田 哲也

(Fukuda Tetsuya)

先天性橈尺骨癒合症により、上肢機能障害がある。急性灰白髄炎(ポリオ)により両腕両足に麻痺が残る母、義肢・装具製作者の父のもとで育ち、幼い頃から障害のある近隣住民や医療機関など、様々なコミュニティでの交流を通し、多角的な視点を持つ。



### 堀川 歩

(Horikawa Ayumu)

心は男性、身体は女性として生まれる。トランスジェンダーの当事者として、LGBT(レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル・トランスジェンダー)の方々への適切な理解や、企業における配慮などを伝える。

多様な声を集め  
新たな価値を  
生み出す

ミライロ・リサーチ

MIRAIRO Research



製品や店舗でのサービス提供・Webサイトやアプリケーションのアクセシビリティ領域などにおける、課題発見や解決方法の提示までフォローします。全国で5,000人以上のモニターや、知見のある障害がある方との繋がりから、定量的・定性的な幅広い意見収集や評価が可能です。

### 取り組みの流れ



お客様が抱える潜在的な課題を抽出するための検証や、改善後のフォローアップとして実施することができます。「課題の発見」から「解決策の検証」まで商品・サービス改善に当事者の視点を反映させます。

## Webアンケート（定量調査）

ミライロ・リサーチ登録モニターを対象に、Webを活用してアンケート調査を実施します。短期間で多くの回答を集めることができ、定性調査と組み合わせることで、定量的な仮説検証に効果的です。



## インタビュー調査（定性調査）

ディスカッション形式の会話の中から、改善ポイントを引き出す調査を行います。当事者と間近に触れることで、表情や温度感から言葉以上の情報を得ることができます。ミラールームのある会場での実施も可能です。



## 行動観察調査（定性調査）

障害のある方が施設や商品、サービスを利用する際の行動と心理面の課題をモニターと調査員が2人1組で調査します。障害者の「当事者目線」と調査員の「客観的目線」を通して、多角的なアウトプットを抽出します。



## 覆面調査（定性調査）

障害のあるモニターがお客様に扮して調査を行います。実際の接客を通して、リアルな改善点を把握することができます。



## Webアクセシビリティ調査

Webアクセシビリティの専門家や障害のある方と連携して調査を行います。Webページの閲覧やアプリケーションの利用時に生じる課題を抽出し、改善提案を行います。



## ワークショップ

障害のある方と共同で行うワークショップの企画設計から、進行、取りまとめまでを行います。「新製品・サービスのテーマや課題を見つけたい」「特定のテーマ・課題に対してアイデアを創出したい」時などに有効です。



## 取り組みの実績

障害のある方が利用しやすい衣服の商品改善に向けたインタビュー調査を行いました。調査をもとに障害のある方が利用しやすいサイズやパッケージの検討を行い、販売の前後に商品の改善を行いました。



すべての人に  
快適で安心な  
空間を創造

ミライロ・アーキテクチャー

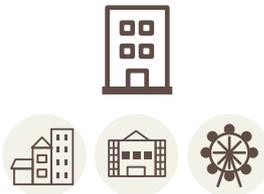
MIRAIRO Architecture



多様な利用者の特性を考慮し、誰もが安心して、心地よく過ごせる空間づくりをプロデュースします。商業施設、公共施設、教育機関、ワークプレイスなどあらゆるシーンに応じてユニバーサルデザインの知見とエビデンスを活用します。

## 取り組みの流れ

法人・団体



施設・環境・都市

調査・  
コンサル

MIRAIRO



ディレクター

快適な空間づくりのサポート

- ・施設改善に向けた課題の抽出
- ・施設のユニバーサルデザイン化に向けたご提案

ミライロ・リサーチ  
を活用した調査



障害があるスタッフや専門的知識を持つスタッフが現地の調査を行います。当事者目線から、実態に即したユニバーサルデザインな場づくりを提案します。

## 施設改善に向けたユニバーサルデザイン調査

既存施設のユニバーサルデザイン化に向けた取り組みは、その環境の課題を発見することから始まります。障害があるモニターの当事者視点と専門的な知識を持つスタッフの客観的な視点で、施設が個々に有する課題の発見から改善提案までを行います。



## 設計・改修時のユニバーサルデザイン監修

新規施設においては、誰もが快適に利用できる施設が求められます。その機能や目的、図面などの情報から、想定される課題の抽出を行い、施設として求められる姿を検討します。

誰もが快適に利用できる施設としてあり続けるために、計画時だけでなく竣工後も様々な課題改善のサポートをいたします。



## 施設運営に関わる配慮事項の作成

施設運営のユニバーサルデザイン領域における配慮事項を作成／監修します。ユーザー視点を取り入れながら、環境面の整備を中心に、接客や情報発信を含めて全体像を示します。より良い施設運営に活用していただけますよう、新しく計画される施設だけでなく、既存の施設においても作成や監修を行っています。



### 取り組みの実績

大塚国際美術館では、施設改修のための調査を行いました。開館から20年を経た館内には、入り口や展示室の一部に移動における障害物がありました。障害のある方、ご高齢の方が利用しやすい施設に向けて課題抽出を行い、段差解消、サインの増設などを経てユニバーサルデザインな施設として改修を行っています。



デザインで  
社会のバリアを  
解消する

ミライロ・クリエイティブ

MIRAIRO Creative



グラフィック・映像・Webなどの多様な媒体を通して、社会にある3つのバリアを解決するソリューションを提供します。「情報の分かりやすさ」「読みやすさ」「美しさ」など、当事者の視点から考え、利用者の環境や状況に応じて最適なデザインを制作します。

## 取り組みの流れ

法人・団体



商品・サービス

デザイン・制作



デザイナー

MIRAIRO

利用者の環境や状況に合わせたデザイン  
多様な媒体を通したソリューション提供  
・マップやサインのユニバーサルデザイン対応  
・バリアフリー情報媒体の制作  
・各種マニュアル・動画の制作



ミライロ・リサーチ  
を活用した検証



お客様が伝えたい情報を精査し、最も伝わりやすいデザインを提供します。色・フォントなど、環境に応じたデザインを制作します。

## バリアフリーガイド・マップ

バリアを環境面から改善することが難しい場合は、情報面で補うことが効果的です。施設から地域のマップなど、条件に合わせてリーフレット・冊子・Webサイトなどの情報媒体を制作します。

障害のあるスタッフ、モニターとともに課題の抽出を行い、利用者が必要とするツールの制作につなげます。



## 案内サインのユニバーサルデザイン監修

身心の条件や制限に左右されず、サインによる情報取得・誘導が適切にされているかを評価し、改善に関する提案を行います。



## ユニバーサルデザイン対応の情報媒体

各種マニュアルやガイドブック、動画などの情報媒体を、ご高齢の方、視力の低い方、色覚特性のある方などにも見やすく、わかりやすいデザインで制作します。

動画制作では、聴覚障害のある方への情報保障として字幕や手話通訳対応をするなど、多様な方々に配慮した提案を行います。



## 取り組みの実績

神戸大学では案内サインの改定、バリアフリーマップの制作を行いました。傾斜のある道を避けるルートを明記したバリアフリーマップの作成、学内サインでは留学生や学外者にもわかりやすい日本語と英語の表記やレイアウトで構築しました。



想いをつなぐ、  
社会が変わる

ミライロ・コネクト

# MIRAIRO Connect



聴覚言語障害により、聞こえづらさや話しづらさを感じている方のために、コミュニケーションのバリアを解消します。例えば、手話や文字等を用いた情報保障や手話講座の実施、コンサルティングによる適切な情報保障手段のご提案などを行っています。

## 取り組みの流れ

音声情報を  
手話や文字で通訳

MIRAIRO



通訳者



コンサルタント

適切な手段の提案

情報保障  
の依頼

聴覚障害者



参加

法人・団体



情報保障の整備

お客様からのご依頼に対して、コンサルタントが適切な情報保障の手段をご提案します。手話や文字などを活用して、聴覚障害者と聴者をつなぐことで情報のバリアを解消します。

---

## 情報保障コンサルティング

聴覚障害のある方を雇用している企業の職場環境向上に向けて、聴覚障害のある従業員と聴者の双方にヒアリングを行い課題を抽出します。その課題を解決するために、環境・意識・情報の観点から適切な情報保障等を提案します。また、情報保障のコンサルタントが相談窓口となり、人事等のご担当者のほか聴覚障害のある従業員の職場での課題や悩みの解消をサポートします。



---

## 手話・文字通訳派遣サービス (現地派遣、オンラインなど)

関東・関西を拠点とした現地への通訳派遣、オンライン会議システムを利用した遠隔通訳派遣、リアルタイムでの映像配信、収録など、様々な場面に合わせて、手話または文字通訳者を派遣します。



実施例：講演・セミナー／部署内会議・グループミーティング／研修時の講義・グループディスカッション／  
各種イベント／フォーラム・パネルディスカッション／採用面接・人事面談

---

## 遠隔における通訳サービス

### 手話リレーサービス

聴覚障害者からの電話受付に課題をお持ちの企業様向けに、聴覚障害者本人が弊社専用窓口を通してお電話できる仕組みを整え、電話利用時の手話通訳を実施します。



### 遠隔手話通訳サービス

行政や店舗の窓口で聴覚障害のあるお客様が来られた際、設置している端末で手話通訳者を呼び出していただくことで、その場のやり取りをリアルタイムで通訳します。

---

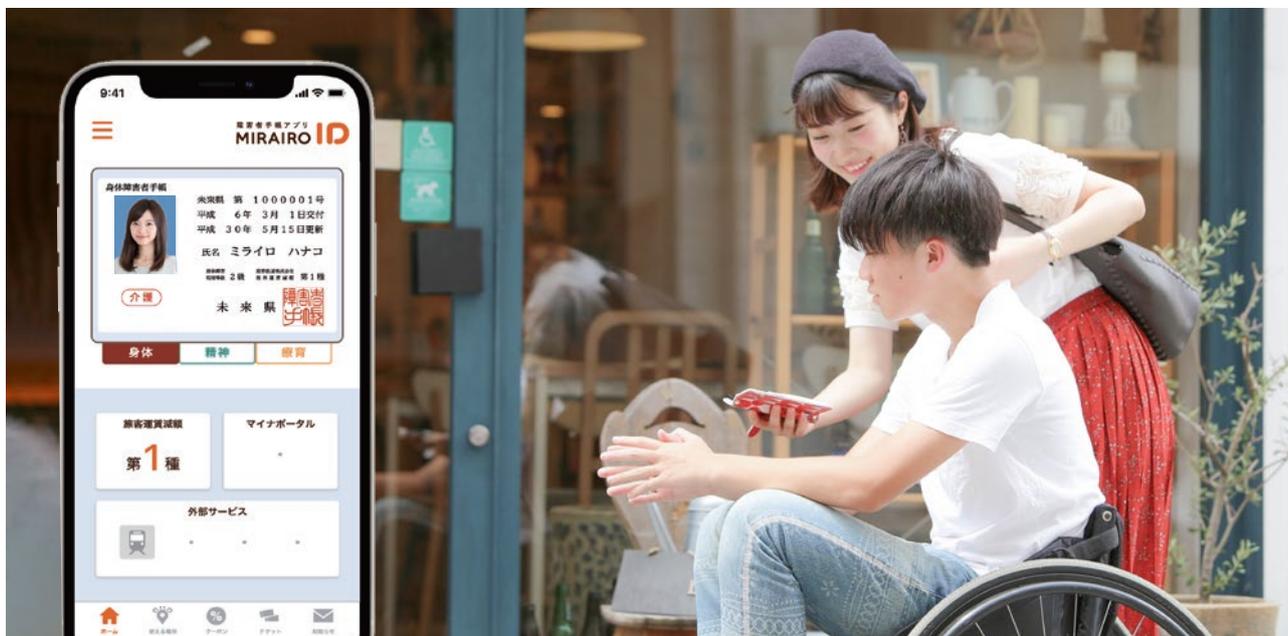
## 手話講座

手話通訳士等の資格取得を目指す方、初めて手話を学びたい方、スキルアップしたい方など、自分のレベルに合わせて、同じ目標をもつ仲間と共に学べるオンライン手話講座です。また、聴覚障害のある従業員やお客様と手話でコミュニケーションをとることを目的に、各業種での頻出用語、よく使われるフレーズ、接客時に使える手話を、現地または遠隔でレクチャーします。



障害がある人の  
移動や生活を  
もっと便利に、  
もっと自由に。

# ミライロID MIRAIRO ID



ミライロIDは、障害者手帳を所有している方を対象としたスマートフォン向けアプリです。障害者手帳の情報や福祉機器の仕様、求めるサポートなどを登録できます。ミライロIDを本人確認書類として認める事業者にて、障害者割引が受けられるほか、クーポンやオンラインチケットの機能もあります。

## ミライロIDの仕組み

### ユーザー



障害者手帳をカメラで撮影し、  
画像データを送付します。

### ミライロID 運営事務局



AIによる判別と目視によって、偽造されたものでないことを確認した上で登録します。また、ユーザーが希望する場合には、マイナポータルとの連携も可能です。

## ミライロIDの主な機能

### 1 障害者手帳の代替

障害者割引適用時の本人確認手段として、ミライロIDを認めていただきます。ミライロIDを導入している企業や施設では、本人確認がスムーズになります。

### 2 ミライロクーポン

障害がある方々に向けて、クーポンを提供できます。店舗への再訪やサービスの継続利用を促すことにつながられます。

### 3 ミライロチケット

オンラインチケットの障害者対応を可能にします。来場される方々の負担や、現場の対応コストを減らせます。

### 4 情報配信

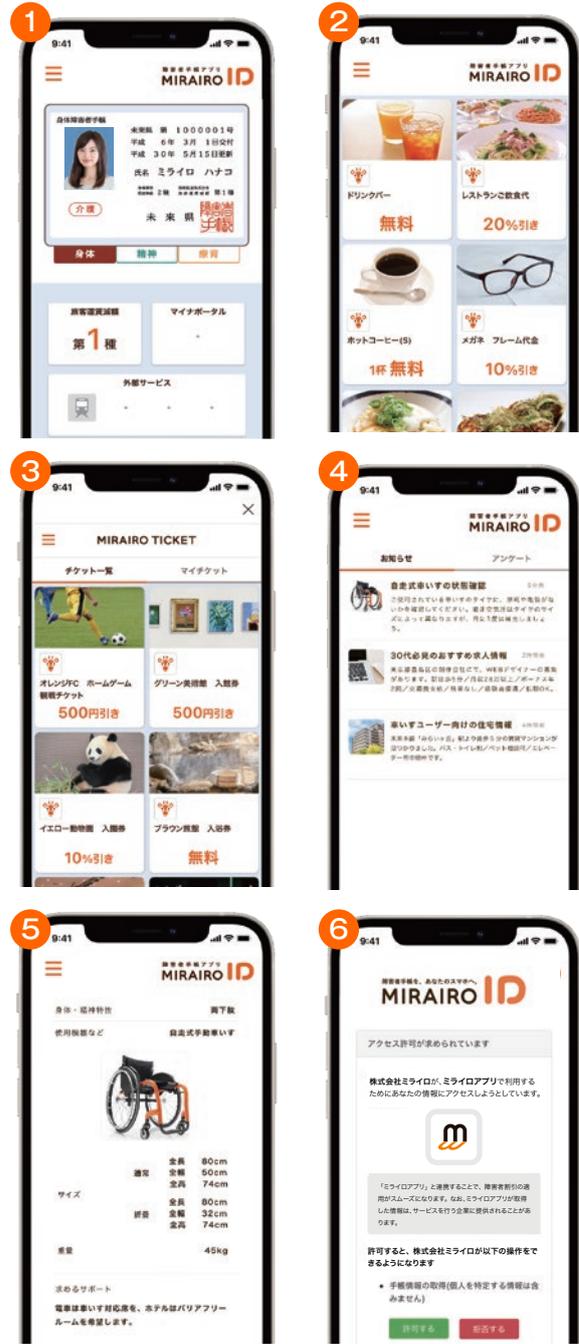
商品やサービス、災害情報などを配信できます。適切かつスピーディな情報提供を実現します。

### 5 福祉機器の共有

福祉機器や身体特性の登録が可能です。それらの情報を貴社システムへデータ提供することができます。

### 6 API連携

他サービスとのアカウント連携などが可能となります。障害がある方々の送客を支援できます。



## 安全性

お客様から頂戴した情報を安全に管理するため、サービス全体に対し下記の対応を施しています。



#### SMS認証

個人の電話番号に紐付けることで本人確認を実施します。



#### パスコード

4ケタの暗証番号もしくは指紋認証によるログインを必要とします。



#### 不正利用の防止

個人紛失時はサポートセンターの遠隔操作で利用を停止します。

---

【大阪本社】 大阪市淀川区西中島3-8-15 EPO SHINOSAKA BUILDING 8F

【東京支社】 東京都品川区東五反田5-26-5 ニッセイ五反田駅前ビル5F

【福岡支店】 福岡市博多区博多駅東2-5-19サンライフ第3ビル6F

---